

4

一人ひとりが輝き個性・創造を育むまち

4-1 誰もが尊重される共生のまちづくり

4-2 男女共同参画社会の実現

4-3 教育環境の整備・充実

4-4 生涯学習の充実

4-5 スポーツ・レクリエーションの充実



榛原東小学校 6年 岩本 優一朗さん

■ 現状と課題

- 基本的人権の尊重は、明るく住みよい、誰もが支え合うまちづくりを進める上で最も重要なものであり、市民相互の豊かなふれあいの基礎を築くものです。同和問題、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等、社会にはさまざまな人権問題が存在し、解決に向けた取り組みが進められています。
- さらに、疾病や貧困、性的指向などをとりまくさまざまな人権問題が考えられ、現実に人権侵害も発生しているなど、今後も多くの解決すべき課題が残されています。
- 人権文化を定着させ、一人ひとりがお互いを認め合い、支え合い、共に生きるまちづくりが求められています。

■ 5年後の主な目標

学習会、研修会、集会等への参加者を増やします。

指標	現状値	目標値
	H 2 3	H 2 9
学習会、研修会、集会等への参加者	980 人	1,300 人

■ 主要施策

(1) 人権啓発・教育の推進

同和問題の解決、児童虐待等への対策、障がい者福祉の推進、在日外国人への正しい理解の醸成など、関係機関の連携のもと、人権尊重と擁護に向けての総合的な取り組みを推進します。

関係機関との連携による人権教育、人権尊重のための適切な情報提供や啓発活動、交流活動等を推進します。

(2) 人権相談・擁護体制の充実

関係機関・関係団体との連携を深め、身近な人権問題に関する相談機会や人権擁護体制の充実を図ります。

■ 主な事業

○同和問題をはじめあらゆる人権侵害を許さない市民意識の高揚を図る取り組み及び啓発の充実の推進

○人権相談及び心配事相談、行政相談等の市民の相談業務の継続

■ 市民ができる取り組み例

◎ 人権学習の促進

人権問題に関する学習や啓発機会を積極的に活用し、一人ひとりの人権意識の高揚が望めます。

※関連計画：宇陀市人権政策基本計画

■ 現状と課題

- 社会構造や経済情勢が急速に変化する中で、男性も女性もすべての個人が、喜びも責任も分かち合い、その能力・個性を十分発揮することができる男女共同参画社会の実現が求められています。
- これまでの啓発活動により、男女共同参画に対する意識は高まってきていると考えられます。しかし固定的性別役割分担意識はいまだに根強く残っていると考えられ、政策・方針決定過程の場や地域活動等への女性の参画はまだまだ進んでいないといえます。
- 今後とも、男女共同参画に関する意識づくり、家庭・職場・地域などさまざまな場における男女共同参画の推進、仕事と家庭生活の両立支援、男女間の暴力の防止などに取り組んでいく必要があります。

■ 5年後の主な目標

各種審議会等における女性の登用率をアップします。

指標	現状値	目標値
	H 2 3	H 2 9
審議会等における女性の登用率	14.9%	30%

■ 主要施策

(1) 男女共同参画に関する教育・啓発の推進

男女共同参画の大切さに気づき、実践するための学校教育、社会教育、各種啓発活動を推進します。

(2) 政策形成・意思形成の場への女性の参画の促進

市民参加の場である審議会等において、男女共にその意見を反映するため、委員の性別が偏ることなく構成されるよう取り組みます。

(3) 家庭と仕事・地域活動のバランスがとれた生活への支援

家庭と仕事や地域活動等の両立を支えるため、育児や介護を支援する各種サービスの充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進や、育児休業・介護休業制度の普及等へ向けた啓発に努めます。

■ 主な事業

○男女共同参画講演会事業

○政策形成、意思形成の場への女性の参画を促進
(女性の登用率を上げる)

- ワーク・ライフ・バランス：「仕事と生活の調和」と訳され、一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

(4) 男女が意欲と能力に応じて生き生きと働ける環境づくり

男女対等な職業づくりを支援するとともに、再就職、キャリアアップ、起業、地域活動等、チャレンジしたいと考える男女への支援に努めます。

(5) 男女間のあらゆる暴力の根絶

DVをはじめとする男女間のあらゆる暴力を防止するため、異性を対等なパートナーとして受け止め、尊重する意識づくりへ向けた啓発や相談の充実に取り組みます。

OD V 相談事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 男女共同参画意識の高揚

「男だから、女だから」と決めつけず、男女がともにその能力・個性を十分発揮することができる男女共同参画についての意識を高め、互いに学習することが望まれます。

※関連計画：宇陀市男女共同参画計画



男女共同参画集会

■ 現状と課題

- まちの宝である子どもたちの健やかな成長を実現するためには、家庭・地域をはじめ、幼稚園・保育所（園）や小学校との連携を強化しながら、幼保一体化や小中学校一貫教育も視野に入れた教育の充実を図る必要があります。
- 小学校については、国の示す適正規模に準拠し、教育環境の整備を行い、地元意向をふまえながら小学校再編の検討を進めます。
- 大宇陀小学校再編事業については平成25年度に完成予定です。また、市内小中学校すべての耐震診断を実施したところです。
- 保育所・幼稚園については、国の新たな子ども子育て支援の制度設計などの動向を見ながら再編を検討する必要があります。

■ 5年後の主な目標

小・中学校施設等の耐震補強工事を完了させます。

指標	現状値	目標値
	H23	H29
耐震化率	63.46%	100% (H27年度中)

■ 主要施策

(1) 学校教育内容の充実

子どもたちが心身ともに豊かでたくましく成長できるよう、家庭・学校・地域が一体となって、地域に密着した特色ある学校づくりと教育内容の充実に努めます。このため、教職員の資質向上や、教育相談の充実、情報化・国際化等への対応や体験学習・環境教育等の教育カリキュラムの充実、文化・芸術にふれる機会の充実を図ります。

(2) 学校の教育環境の充実

学校の教育環境を充実するため、学校施設の耐震補強など安全で安心して学べる学習環境の整備を進めます。

市民のニーズや一元化の動向をふまえながら、保育所・幼稚園、小学校の再編を検討します。

■ 主な事業

- 学力向上プロジェクト事業
- 教育センター事業
- 教育相談事業
- 適応指導教室（はばたき）開設
- 安全安心メール配信事業
- 外国青年招致事業（JET）
- 語学指導助手（ALT）配置事業

- 学校施設の耐震補強事業
- 学校施設の大規模改修事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 家庭の教育力の向上

保護者への家庭教育の充実などを通じて、地域におけるあいさつや保護者自身の学びを進めることが望まれます。

■ 現状と課題

- 高度情報化の進展やライフスタイルの変化、急激な高齢化の進行など、変化の激しい社会状況において、市民一人ひとりが、心豊かに、健康で、生きがいのある人生を過ごすために、主体的に学習を継続することが求められています。
- 生涯学習はまちづくりの上で重要であることから、個人の生きがいづくりや楽しく学ぶ学習活動に加えて、学習を通じて人や社会とのつながりを深め、地域社会全体の活性化につなげられるような学習活動を促進する必要があります。

■ 5年後の主な目標

生涯学習講座を充実させます。

地域教育力を高めます。

図書館の利用促進を図ります。

指標	現状値	目標値
		H 2 3
講座受講者数	2 5 8 5 人	3 5 0 0 人
子ども活動支援事業にかかるボランティアの人数	1 5 人/校	2 0 人/校
図書貸出冊数	1 3 7 , 8 5 8 冊	1 7 2 , 0 0 0 冊

■ 主要施策

(1) 生涯学習環境の充実

生涯学習の推進を図るため、システム更新がなされた図書館をはじめ、既存の公民館などの生涯学習関連施設のさらなる機能充実と活用、ネットワーク化を図ります。

(2) 地域の教育力の醸成

地域における生涯学習活動の推進を図るなかで、地域ぐるみの子育て支援や青少年のコミュニティ活動などにおける指導者の確保と育成に視点をいた取り組みを推進します。

■ 主な事業

- 図書館機能拡充事業
- 集会所改修整備費補助事業
- 各種講座

- 子ども活動支援事業
- 子どもフェスタ事業
- 青少年育成支援事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 生涯学習の促進

子どもフェスタなど市民協働による学習ふれあいイベントを開催するとともに、多様な生涯学習講座やイベントへの参加が望まれます。

※関連計画：宇陀市生涯学習振興指針

■ 現状と課題

- ・都市化の進展や生活の利便性の向上などによって、日常生活における運動機会が減少し、体力の低下が指摘されています。
- ・市民がスポーツを通じて交流を深め、健康づくりはもとより、地域の一体感や連帯感を醸成し、希薄化した地域のつながりを取り戻し、地域力を再生することが重要です。
- ・市民が主体的にスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備や指導者の育成を行うとともに、誰もが、いつでも自分の体力と技能に応じて自由に参加できる総合型地域スポーツクラブの育成が必要です。

■ 5年後の主な目標

社会体育施設の利用促進を図ります。

指標	現状値	目標値
	H23	H29
社会体育施設利用者	367,000人	414,000人

■ 主要施策

(1) スポーツ環境の充実

スポーツ施設の計画的な整備・統廃合や設備の充実を図り、既存施設の利用促進や適正な維持管理に取り組みます。

(2) 生涯スポーツ活動の支援

一市民スポーツを目指し、スポーツボランティア制度の充実、指導者やサポーターの育成支援に努めます。

■ 主な事業

- 体育施設長寿寿命化事業
- 市民スポーツ大会事業
- 総合型地域スポーツクラブの育成
- 市民マラソン大会事業
- スポーツ推進委員
- 各種スポーツ団体支援

■ 市民ができる取り組み例

◎ 生涯スポーツの促進

誰もが、いつでも自分の体力と技能に応じて自由に参加できる総合型地域スポーツクラブをはじめ、生涯スポーツ活動への参加が望めます。

※関連計画：宇陀市生涯学習振興指針

- **総合型地域スポーツクラブ**：日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、文部科学省が実施するスポーツ振興施策の1つで、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ。